

教職に関する科目

- 中学校教諭 1 種免許状
- 高等学校教諭 1 種免許状

文学部

免許法施行規則に定める 専門教育科目区分等	
科 目	単 位

本学で開設する科目		修 得 単 位		備 考
科 目	単 位	中 1	高 1	

教職の意義等に関する科目	教職の意義及び教員の役割 教員の職務内容(研修、服務及び身分保障等を含む。) 進路選択に資する各種の機会の提供等	2
教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。) 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	6
教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法 各教科の指導法 道徳の指導法 特別活動の指導法 教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	高6 / 中12
生徒指導、進路指導等に関する科目	生徒指導の理論及び方法 教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法 進路指導の理論及び方法	4
教育実習(事前・事後の指導1単位を含む)		中5 高3
教職実践演習		2
中学校		31
高等学校		23

○教師論	2	2	2	
○教育の原理 教育哲学 日本教育史 西洋教育史	2 2 2 2			
○人間の発達と学習 発達心理学 特別支援教育 学習心理学 教育心理学 発育発達論	2 2 2 2 2 2	6 以 上	6 以 上	
○学校制度と社会 教育社会学 教育行政学 生涯学習概論 環境教育	2 2 2 2 2	上	上	
○教育課程編成論	2	2	2	
○社会科指導法Ⅰ(中学) ○社会科指導法Ⅱ(中学) ○社会公民科指導法Ⅰ ○社会公民科指導法Ⅱ ○英語指導法Ⅰ ○英語指導法Ⅱ 英語指導法Ⅲ 英語指導法Ⅳ	2 2 2 2 2 2 2 2	4	4	※①②
○道徳教育の理論と方法 ○特別活動の指導法	2 2	2 2	— 2	※③
○教育の方法と技術 コンピュータと学習支援 教育方法学	2 2 2	4	2	
○児童理解と教育相談 ○生徒理解と教育相談	2 2	4	4	
○教育実習(中学校) ○教育実習(高等学校)	5 3	5 —	— 3	
○教職実践演習(中・高)	2	2	2	
免許状取得に必要な単位数	社会 公民 英語	33	27	※④⑤

〔備考〕○印は必修科目

※① 各教科の指導法は、取得しようとする免許状の教科ごとに履修してください。

※② 指導法は、取得しようとする免許状の教科以外、余剰単位として充てることはできません。

※③ 「道徳教育の理論と方法」は、中1種免のみ必修。高1種免申請の場合は「教科又は教職に関する科目」として充てられます。

※④ 社会(中1種)の免許状を取得する場合は、「社会科指導法Ⅰ・Ⅱ」を、公民(高1種)の免許状を取得する場合は、「社会公民科指導法Ⅰ・Ⅱ」を履修してください。

※⑤ 社会(中1種)、公民(高1種)の免許状を同時に取得しようとする場合、「社会公民科指導法Ⅰ・Ⅱ」は必ず履修してください。

VI

教育職員免許状
をとるために

教科又は教職に関する科目

- 中学校教諭 1 種免許状
- 高等学校教諭 1 種免許状

文学部

免許法施行規則に定める科目		本学で開設する科目		修得単位	備 考
科 目	単 位	科 目	単 位		
教科又は教職に関する科目	中8 高16	異文化理解と教育	2	} 中8 高16	人間学科のみ 高1種免のみ
		生命と性の教育	2		
		精神保健	2		
		情報メディアの活用	2		
		道徳教育の理論と方法	2		

※「教科又は教職に関する科目」には上記科目の他に、「教科に関する科目」「教職に関する科目」の余剰単位を充てることができます(p.202参照)。

免許法施行規則66条の6に定める科目

- 中学校教諭 1 種免許状
- 高等学校教諭 1 種免許状

文学部

免許法施行規則に定める科目		本学で開設する科目		修得単位	備 考
科 目	単 位	科 目	単 位		
日本国憲法	2	日本国憲法	2	2	教職関連科目群
体育	2	体育Ⅰ	1	} 2	} コア科目群
		体育Ⅱ	1		
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーション	2	} 2	} コア科目群 (人間学科のみ) } 比較文化学科のみ
		コミュニケーション・イングリッシュⅠ	2		
		コミュニケーション・イングリッシュⅡ	2		
情報機器の操作	2	マルチメディア入門	2	} 2	} コア科目群
		ネットワーク入門	2		
		プログラミング入門	2		
		データ処理入門	2		